

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名：尾崎 薫

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の 内容	関連領収書 番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
R6. 5. 15 ～16	R6. 5. 15 11:00～ 12:30	東京都	とっとり・おか やま新橋館	鳥飼課長補佐	リニューアルし た店の視察	活動報告（県 外）のとおり
	R6. 5. 15 13:00～ 15:00	東京都	鳥取県東京本 部	堀田本部長	アンテナショッ プの説明	活動報告（県 外）のとおり
	R6. 5. 16 13:30～ 16:00	東京都	市川房枝記念 館	枝の会 様、 様、 様 市川房枝記念 館 理事	山口みつ子顕彰 について	活動報告（県 外）のとおり
R6. 6. 30	R6. 6. 30 14:00～ 17:30	東京都	文京区 男女平等セン ター	国際女性の地 位協会	国連3つの委員 会の報告とパネ ルディスカッシ ョン	活動報告（県 外）のとおり
R6. 7. 24 ～25	R6. 7. 24 11:00～ 16:00	東京都	衆議院議員会 館	立憲民主党	「防災と女性」 について	活動報告（県 外）のとおり
	R6. 7. 25 10:00～ 11:30	東京都	衆議院議員会 館	立憲民主党	「共同親権」に ついて	活動報告（県 外）のとおり
R6. 8. 22	R6. 8. 22 10:30～ 12:00	東京都	衆議院議員会 館	石破茂議員、 野田佳彦議員	国連女性差別撤 廃条約について	活動報告（県 外）のとおり
R6. 10. 14 ～19	10/14 15:00～ 16:30 他（活動報 告（国外の とおり）	スイス	ジュネーブ国 連	国連女性差別 撤廃委員会	国連女性差別撤 廃委員会傍聴、 意見交換	活動報告（国 外）のとおり
R6. 11. 10	10:00～ 11:30	鳥取市	修立地区公民 館	参加者	議会報告会	11-4

R6. 11. 10	13 : 00～ 14 : 30	鳥取市	浜坂地区公民館	参加者	議会報告会	11-3
R6. 11. 27	11:00～ 13 : 30	鳥取市	ホテルモナーク鳥取	教育長、県民	教育に関心のある県民と教育長との意見交換会	11-10
R6. 12. 3	12 : 00～ 13 : 30	東京都	衆議院議員会館	JNNC	国連女性差別撤廃委員会報告	活動報告（県外）のとおり

- ・交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活 動 報 告（県外・~~国外~~）

議員名：尾崎 かおる

活 動 事 項	とっとり・おかやま新橋館 視察調査
活 動 年 月 日	令和6年5月15日（水） 11:00～12:30 政務活動
場 所	とっとり・おかやま新橋館
活動の相手方	鳥取県・岡山県共同アンテナショップ運営協議会事務局 鳥飼課長補佐 他2名
活 動 の 目 的	リニューアルしたアンテナショップの視察
活 動 の 内 容	・現地を見て改良された点、取り組みについて聞く。 ・店舗は岡山（ピンクの値札）、鳥取（梨色の値札）等に分けられ商品を見やすいように工夫。 ・2階レストランメニューの視察、実際食べてみた。 ・会議室等の利用促進について。
活動の結果等	・議会報告会で発表。 ・常任委員会で気の付いた改善点を指摘した。 ・今後も指摘した事項が改善されているかを委員会等でも発言していく。
関連領収書番号	4-14、5-7

活 動 報 告（県外・~~国外~~）

議員名：尾崎 かおる

活 動 事 項	とっとり・おかやま新橋館リニューアルについて
活 動 年 月 日	令和6年5月15日（水） 13:00～15:00 政務活動
場 所	鳥取県庁東京本部
活動の相手方	鳥取県庁東京本部 堀田本部長 他1名
活 動 の 目 的	・リニューアルされたアンテナショップの取り組みについて聞き取り。
活 動 の 内 容	・リニューアルの経緯、効果、課題などを聞き取り、今後の取り組みについて意見交換を行った。
活動の結果等	・議会報告会で発表。 ・常任委員会で視察の感想や改善点について発言。 ・今後も指摘した事項が改善されているかを注視していく。 また、民芸などの販売を検討してはと提案したがそれについて議会、議員としても協力していきたい。
関連領収書番号	4-14、5-7

活 動 報 告（県外・国外）

議員名：尾崎 かおる

活 動 事 項	山口みつ子追悼集の打ち合わせ、市川房枝記念館視察
活 動 年 月 日	令和6年5月16日（木） 13:30～16:00 政務活動
場 所	市川房枝記念館
活動の相手方	枝の会 様、 様、 様 市川房枝記念館 理事
活 動 の 目 的	・女性の政治参画に寄与された山口みつ子さんの顕彰 ・市川房枝記念館の視察
活 動 の 内 容	・女性の政治参画に寄与された山口みつ子さんの憲章のため、追悼集を作成し、今後の女性の政治参画の促進に活かす。 ・市川房枝さんや日本の女性参政権運動史を学ぶ。
活動の結果等	・議会報告会、女性の団体等で発表。 ・多様な意見を反映させるために女性の政治参画は必要であり、鳥取県議会でも同様である。今後も議会質問等に女性の政治参画などについて学んだことを反映させていきたい。
関連領収書番号	4-14、5-7

活 動 報 告 (県外・~~国外~~)

議員名：尾崎 かおる

活 動 事 項	国連活動について
活 動 年 月 日	令和6年6月30日(水) 14:00~17:30 政務活動
場 所	文京区男女平等センター
活動の相手方	国際女性地位協会
活 動 の 目 的	国連の女性に関わる3つの委員会代表による報告から日本の女性の現状、今後必要なこと等を学ぶ。
活 動 の 内 容	国連女性差別撤廃委員会委員 ■■■■■氏、第78回国連総会第三委員会日本政府代表顧問 ■■■■■氏、第68回国連女性の地位委員会(CSW)日本代表 ■■■■■氏の報告を聞き、その後パネルディスカッションと質疑応答。
活動の結果等	・女性の団体等で発表。 ・ホームページで報告 ・■■■■■氏より、「企業、団体が男女賃金格差の公表することは高く評価された。しかし、差を縮める努力が求められる。」とあった。今後、賃金格差の縮小に向けて議会でも取り上げ、議論していきたい。
関連領収書番号	5-20

活 動 報 告（県外・~~国外~~）

議員名：尾崎 かおる

活 動 事 項	研修「防災と女性」、「共同親権」について
活 動 年 月 日	令和6年7月24日（水） 11:00～16:00 7月25日（木） 10:00～11:30 政務活動
場 所	衆議院議員会館
活動の相手方	立憲民主党
活 動 の 目 的	・能登半島地震を受け、防災力を高める。 ・共同親権について学ぶ。
活 動 の 内 容	・防災について 水害、地震、原発、複合災害についてパネルディスカッションの後、各テーブルで討議 ・共同親権について 成立（法案）までの経緯を法務省担当者が説明。行政書士や実際の当事者による現状、デメリットを学ぶ。
活動の結果等	・防災については、議会報告会等で発表、また住民の方々と共有し、議会でも取り上げていきたい。 ・共同親権については議会報告会、HP、女性の団体等で研修の発表をした。また、議会で今後更に議論し、地方自治体で必要な施策を提案していく。
関連領収書番号	7-3, 7-17

活 動 報 告 (県外・~~国外~~)

議員名：尾崎 かおる

活 動 事 項	国連女性差別撤廃条約の選択議定書批准についての意見交換
活 動 年 月 日	令和6年8月22日(木) 10:30~12:00 政務活動
場 所	衆議院議員会館
活動の相手方	石破茂議員、野田佳彦議員
活 動 の 目 的	全国でジェンダー問題に取り組む団体の代表者と両議員と面会し、国連女性差別撤廃条約の批准の必要性和早期批准について意見交換。
活 動 の 内 容	全国でジェンダー問題に取り組む団体の代表者と両議員と面会し、国連女性差別撤廃条約の批准の必要性和早期批准について意見交換をした。 ・石破議員とは予定時間をオーバーしての意見交換をできた。 ・野田議員には資料提供を行った。
活動の結果等	石破議員には訪問当時自民党総裁選に向けての活動の中、面会して頂いた。以前から選択議定書の重要性は理解されている。今後の対応については、慎重な議員にどう対応していくかの意見を頂いた。 野田議員には当日は不在であったため秘書の方に資料をお渡しした。党としても賛成であるので、今後党しても進めていく姿勢であると考えていると話があった。
関連領収書番号	8-12

活 動 報 告 (県外・国外)

議員名：尾崎 かおる

活 動 事 項	国連女性差別撤廃委員会 日本レポート審議傍聴と NGO ミーティング
活 動 年 月 日	令和 6 年 1 0 月 1 4 日 (月) ～ 1 9 日 (土) 政務活動：10/14 15:00～16:30、10/15 16:00～18:00、10/16 13:30～15:00、10/17 10:00～19:00 (スイス時間)
場 所	スイス ジュネーブ国連
活動の相手方	国連女性差別撤廃委員会、各国 NGO
活 動 の 目 的	国連女性差別撤廃条約の日本の履行状況の審査を傍聴し、まだある課題解決に繋げる。
活 動 の 内 容	・女性差別撤廃委員会委員たちと NGO ミーティングが開催され、その際 NGO から見た現状と要望を行った。 ・委員から出された質問に対し、同日 17:00 頃までに NGO で回答を作成し、提出した。 ・日本レポート審査の傍聴をし、委員会から出される勧告に NGO としての公式の見解を出す。
活動の結果等	・国連女性差別撤廃委員会活動を広め、日本のジェンダー平等を進める力にしていく。 ・10月30日に国連女性差別撤廃委員会から出された勧告を和訳し、11月3日に参議院会館で報告集会を行った。 ・今回の活動を、新聞へ投稿。また、報告会を3回行った。 - 他に、年度内に3つの講演依頼を受け、講演を行った。
関連領収書番号	7-26、9-6、9-2

活 動 報 告 (県外・国外)

議員名：尾崎 かおる

活 動 事 項	国連女性差別撤廃委員会傍聴団院内集会
活 動 年 月 日	令和6年12月3日(火) 12:00~13:30 政務活動
場 所	参議院議員会館
活動の相手方	JNNC(日本女性差別撤廃委員会ネットワーク)
活 動 の 目 的	ジュネーブで10月に行われた国連の女性差別撤廃委員会の傍聴と委員たちとのNGOミーティングについての報告をし、今後の活動について意見交換。
活 動 の 内 容	各団体がNGOミーティングでの要望について発表し、私も報告をした。勧告にどう反映されたか、されなかったかについて意見交換。国会議員48名、秘書40名弱が参加し、多くの議員が発言し条約を進める必要性を強調した。 院内集会には予想を大きく上回る約250名が参加し、オンライン参加を含めると480名が参加した。
活動の結果等	・報告会について多くのメディアが取り上げ、県民にも関心が高まるきっかけになっている。 ・勧告について全ての勧告内容を学ぶ4回シリーズのオンライン勉強会が立ち上がり実施。約60名の参加があり、若い人の参加も多い。 ・選択的夫婦別姓、女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准、女性議員を増やすこと、男女賃金格差等雇用制度も含めた是正等、一丸となって取り組んでいく。
関連領収書番号	11-7